

パブリックメディア型観光情報誌

ふとしい食^{くわい}楽^{がく}誌

2014.4

vol.6

人と自然が結ぶ未来



羽幌えびしおラーメン



甘えびの押し寿司



羽幌えびタコ焼き餃子

郷土食
06

甘エビ



甘エビの漁獲量日本一を誇る羽幌町では、6月28日・29日の両日に「はぼろ甘エビまつり」が開催される。新鮮な甘エビが浜値で買える魅力のイベントである。町内の飲食店では、生の甘エビの華やかなピンク色と濃厚な甘みを存分に堪能できる井や押し寿司から、エビ粉やエビ油で趣向を凝らしたラーメン、具にたっぷりエビを詰め込んだ餃子まで、食べ方が楽しめる。「地元ならではの活きの良さを是非味わってみて欲しい。」という願いと自信に満ちた作り手の姿に思わず笑顔がこぼれる。



【羽幌町】

羽幌町は留萌管内のほぼ中央に位置し、天塩山系ピッシリ山を背に、日本海に面している。日本一の漁獲量を誇る甘エビのほか、アスパラなどの農産物にも恵まれている。

人口：7,717人(2014年1月末現在)

町の花：つつじ

町の木：オンコ（イチイ）

海鳥の楽園、天売島。
サフォークの里、焼尻島。
色とりどりの薔薇が咲き誇るバラ園を優しい香りに身を委ねながらゆつくりと歩こう。
羽幌町は花と海、鳥を愛でるところ。

はぼろちよう
羽幌町



羽幌町



キツネのアクビ

いつも写真を撮っている川に行きました。友達に「後ろにキツネがいるよ!」と声をかけられ探したら背後にキツネ... (驚)。慌ててカメラを構えて沢山撮りましたが、逃げることなくなかなかいいポーズをしてくれました。

写真投稿：北海道海鳥センタージュニアレンジャー のみやれいな 野宮玲那

(2009年撮影当時小5)

人と自然が結ぶ未来

雪が解け、北国に春が来る。
人も自然もいきいきと輝く春だ。

留萌管内中部に位置する羽幌町の沖合には、夫婦島と呼ばれる天売島、焼尻島が浮かぶ。5月から9月にかけての観光シーズンには、この島の多様な自然を求めて多くの旅人がやってくる。

島、そして、マチ。

それぞれの場所に「はぼろ流の暮らし方」があり、自然との調和、共鳴に未来が見える。



しまりゆう 島流を楽しよう

国内唯一のオロロン鳥（ウミガラス）の繁殖地、天売島。

この島に暮らす若者達がそれぞれの想いを語り合い、未来につながる島の姿を模索する活動が注目を浴びている。

「おらが島活性化会議」は代表の齊藤暢みつるさんを中心に30代から50代の漁師、漁協職員、自営業などの8人で構成されている。昨年は、島で婚活イベントを開いたり、地元でとれるアワビ入りの「天売あわびカレー」を開発し、イベントやインターネットを通じて販売



し、島のPRに取り組んできた。
「この島に人が住み続けるため
に今、出来ることを」と語る齊藤
さん。島の高校「町立天売高校」
の存続に向けても奔走し、島外か
ら学生を募集する島留学で知られ
る島根県海士町を視察し、仲間と
も議論を重ねている。

四季折々、海の幸に恵まれる天
売島。住民同士のコミュニケーション
も豊かな自然からの恵みが
結ぶ。

「島の外食といえば、知り合い
の家での食事のこと。旬の食材が
上る食卓と一緒に囲む。これが島
流です」と齊藤さん。

さを伝えるため、出前授業を行っ
たり、幼稚園児にもゲーム感覚で
楽しくリサイクルを教えています
よ」と五十嵐芳信会長。

プリン石鹸は合成洗剤よりも使



今、島でできること、自分達が
何気なく楽しんでいることを島を
訪れた人にも楽しんでもらう。
齊藤さんの夢は広がる。

はぼろスローライフ

羽幌町には町民自ら行動する環
境活動「はぼろスローライフ計画」
がある。計画を普及啓発する町民
組織の羽幌環境会議では、町の中
心部を流れる福寿川の水質改善に
取り組んだり、島と町を繋ぐ海の
水質保全のため廃油からプリン石
鹸を作り、普及に務めている。

「高校生に水を守ることの大切

い勝手が良く、環境に優しいと認
知され、多くの町民から支持され
ている。

その活動は夏の花いっぱい運動
や冬の街灯り運動にと広がった。

「夜道を歩く人にほんの少し玄関
の灯りを分けませんか、道路に面
したリビングのカーテンをあけ
て、外をそつと照らしてあげませ
んか」と事務局長の濱野孝さんら
は住民に呼びかけている。

はぼろスローライフ。

自然環境保護がまちづくりに広
がり、冬場に夜道を照らす暖かな
灯りが、人々の心を温めるように
照らす。



ゆったり、島の時間

サフォークが草を喰む牧歌的風
景が広がる焼尻島。

互いに世話を焼き合う島の暮ら
しに流れる時間はゆるやかだ。

島には高齢者も多く、毎日浜を
眺め、近所を散歩し顔見知りと気
さくに会話を交わす健康的な暮ら
しがある。

かつて、離島ブームで団体客が
押し寄せた焼尻島には現在、個々
の価値観で旅を楽しむ個人や家族
単位の客が多く訪れるが、島の旅
館は昔ながらの大広間を完備した
設備が多く、残念ながら今の旅人



のニーズにマッチしているとは言えない。「若者の視線で、島での滞在スタイルを変えたいね」と旅館磯乃家を経営する磯野直^{すなお}さん。旅館同士が部屋数や風呂などの施設の機能をうまく補完しあいながら旅人を受け入れたり、漁師が民宿を開くのも良いとも考えている。主人が魚をとり、新鮮な魚を奥さんの手料理でもてなす。

島ならではの過ごし方は、人工的なテーマパークにも劣らない。

島の環境と島ならではの暮らしを守る人、多様な生命が結びつく環境を次世代へと繋げようとする人、それぞれの想いを知れば、海や草木の色にもまた、新たな発見があるだろう。

【羽幌町の観光情報はこちらへ】

- 羽幌町観光案内所 (4月26日～8月31日)**
羽幌町港町1 (フェリーターミナル内)
電話 0164-62-3993
- 天売島観光案内所 (4月26日～8月31日)**
羽幌町天売弁天6
電話 01648-3-5401
- 焼尻島観光案内所 (4月26日～8月31日)**
羽幌町焼尻東浜
電話 01648-2-3993

コラム

春の羽音

野山が積雪から解放されると、大地が長い眠りから目覚めたかのように感じられます。冬を南の海で過ごした海鳥たちは、この時期、子育てのために繁殖地を目指して北上します。春の「足音」ならぬ「羽音」で、私にはぎやかな季節の到来を知るのです。

その海鳥たちが目指す繁殖地が、天売島にあります。周囲12キロほどの小さな島ですが、西側の海岸は切り立った崖が続き、ここに百万羽近い海鳥たちが集まります。中でも、最も多いのがウトウです。天売島がウトウの世界最大の繁殖地で、約40万羽がい、80万羽が崖上や斜面の土にトンネル状の巣穴を掘り、子を育てます。40万羽がい分の巣穴が密集して開いているので、地面は蜂の巣のように穴だらけです。

天売島に渡ってきたウトウたちは、雪解けで崩れ

た巣穴を修理し、卵を産み、温めます。卵がかえる6月頃から、ウトウ観察のベストシーズンです。日中は洋上に広く散らばっていますが、日没後にヒナの待つ巣穴をめがけ、くちばしに魚をくわえて一斉に戻ってきます。数十万羽のウトウが、黄昏の空を飛び交う光景は、言葉では表現できません。

7月末には、ほとんどのヒナが巣立ち、親鳥も島を後にします。他の海鳥たちも8月中に子育てを終え、羽音とともにやって来たにぎやかな季節は、羽音とともに去っていくのです。



ウトウ



北海道海鳥センター
石郷岡 卓哉

北海道海鳥センター
羽幌町北6条1丁目
電話 0164-69-2080
HP <http://www.seabird-center.jp/>

手書きまっぷで小旅行【羽幌町編】

留萌管内8市町村には、天売島・焼尻島を含め、9枚の「手書きまっぷ」があります。見どころ、食べどころ、遊びどころ、癒しどころ、ランドマークなど細かく紹介しています。「手書きまっぷ」を片手に、管内を巡ってみませんか。今回は、羽幌町を歩いてみました。

町の入口では大きなオロロン鳥が「ようこそ」と今にも言わんばかりの迫力で迎えてくれる。町の中にもオロロン鳥がカントリースサインや街路灯、マンホールなどに描かれていて賑やかだ。

国道から一本横道に入ると、新たに2軒見つかる。「たいこ焼」のみを売る「久保田おやき店」。小振りな丸さと手頃な値段で、予約なしでは買えないことが多いので訪ねる前に確認しておきたい。沿岸バス本社ターミナル隣の「ささや銘菓」には、名前も可愛い洋菓子「おろろんの卵」がある。どのお菓子も、食べた途端にいいお土産にしてくれる。

国道232号線沿いに町に入り商店街を程なく行くとお菓子屋さんがある。2種類の豆を合わせた元祖「金時羊羹」を扱う「梅月」には、柔らかな「赤岩餅」や4種類のあんが一つになった大きな最中もある。そこから信号をひとつ分進むと、道の反対側に「秋山菓子店」がある。天売島と焼尻島の両島をイメージして命名された「両天焼」は、アーモンドとホワイトチョコがたっぷりの焼き菓子だ。



町内には外壁に独特の色や模様で彩られた商店がある。目線をいつもより高くして店に入る前に眺めるのも面白い。観光客も目を止める太田理容院、ひのきや鮮魚店、まっぴ時計店など、個性的なお店が立ち並ぶ。

羽幌町の観光パンフレットが新しくなりました!

町内の観光施設などにありますので、手に取ってみて。観光ポータルサイトもある!
www.haboro.tv/



留萌管内手書きまっぷ オロロンまっぷ
<http://rumoiclub.net/map/>



買う

「水産加工品販売店」

るもい 食楽歩 セレク ション



「料理旅亭 富士屋」



泊まる



ひやくとめや 珍味の店 百留屋

昔ながらに煙でいぶされたほっけの燻製は、程よい油加減と甘さに手が止まらなくなるお薦めの一品。カンカイやトバも是非チェックしておきたい。ご主人の笑顔も素敵で、何故か希少なバイクも拝める珍味屋さん。

〒 苫前郡羽幌町南大通1丁目
☎ 0164-62-4485
🕒 9:00~18:00
定休日: 5月~8月 火曜日/9月~4月 不定休

ホッケの燻製はひと味違う!



北るもい漁業協同組合直売店 産直工房きたる

「来(きた)る者拒まず」が店名の由来。数ある商品の中でも地元の萌えキャラがパッケージのえびみそラーメンが大人気。ここに来れば、それまで見たことも聞いたこともない新しいエビの食べ方に会える。

〒 苫前郡羽幌町港町1丁目36番地
☎ 0164-68-7700
🕒 9:00~16:00
定休日: 4月~8月・12月 無休
9月~11月 木曜日/1月~3月 休業
HP <http://www.kitaru.org/shop/>



新鮮さ! 漁協の直売店だから



イサバヤ食堂

店名の語源は磯場屋(いそばや)・五十集屋(いさばや)・漁場(いさば)の諸説がある。店舗の無い架空の食堂では甘えびの沖漬や釜揚げ、洋風いかめしやオロロン漬に糠ニシンマリネなど、うまいもんがてんこ盛り。

HP <http://isabaya.sakura.ne.jp/>
道の駅 ほとと♡はぼろ 道のお買い求めいただけます



自慢の加工品食べてみて!

羽幌町で水産加工品が買えるお店

重原商店

〒 羽幌町南1条3丁目 ☎ 0164-62-2138

まるや渋谷水産直売所

〒 羽幌町栄町89 ☎ 0164-62-5671

山田水産直売所

〒 羽幌町北4条1丁目 ☎ 0164-62-4815

道の駅 ほとと♡はぼろ 羽幌町北3条1丁目 はぼろ温泉サンセットプラザ内 ☎ 0164-62-3800

久一販売部

〒 羽幌町南大通1丁目 ☎ 0164-62-6291

高本水産

〒 羽幌町北大通1丁目 ☎ 0164-62-2011

ストアーク ヨークタウン店

〒 羽幌町南3条2丁目ハートタウン内 ☎ 0164-62-2160

四季折々の地元産食材を使った美味しい料理でもてなす料理旅亭富士屋。夫婦二人で営む宿で、心落ち着くひととき、これこそが心の贅沢。



料理旅亭富士屋は、昭和元年の開業。かつてニシン漁で賑わっていた頃や羽幌炭鉱が繁栄を極めていた頃から3代続く老舗旅館だ。かつては今より人口も多く鉄道も通っており、商いで町を訪れる人々の宿であった。

現在、3代目として跡を継ぐのは、岡戸康平さん千佳子さん夫妻。二人で宿を切り盛りして30年近くが経つ。現在の料理旅亭にリニューアルしたのは、平成15年。甘エビ漁獲量日本一の羽幌町が誇る旬の海の幸、新鮮な野菜をふんだんに使った料理で旅人の心も満たす。「ゆっくりとした旅を好む方が多く、田舎に里帰りするような気分で戻ってきてくれる方もいらっしやいます」と女将の千佳子さん。

新鮮な前浜の魚介類や旬の食材を用いた料理の数々は料理旅亭ならではの朝食も特産の長イモのとろろ、炊きたての羽幌産米おぼろぎなど優しい美味しさだ。



料理旅亭 富士屋

〒 苫前郡羽幌町南3条2丁目

☎ 0164-62-2078

🕒 宿泊料金、お問い合わせ、ご予約は、ウェブサイトから

HP <http://www.fujiyaryokan.co.jp>





増毛町 留萌市 **増毛ノロッコ号運行②** **3日(土) ▼ 6日(火)**

今年もゴールデンウィーク恒例の増毛ノロッコ号が運行。目玉は留萌の魚介類が味わえるバーベキュー車両。



JR北海道留萌本線 旭川ー増毛間
運行期間/4月26日(土)、27日(日)、29日(火)、
5月3日(土)～6日(火)
問合せ/留萌駅トラベルセンター 0164-42-0749

初山別村 **第23回 しょさんべつ桜まつり** **17日(土) 予定**

待ち遠しい桜の便り！見ごろの桜を愛でて春を満喫！
・参加型ゲーム
・歌謡ショー



場所/東山樹園 (有明)
問合せ/初山別村観光協会 0164-67-2211

小平町 **第32回 鯨番屋まつり** **18日(日)**

重要文化財「旧花田家番屋」を会場に、やん衆の息吹を今に伝えるお祭り。おびら太鼓、鬼鹿神楽、大漁宝引きなどの催し物や大鍋三平汁を味わうことができる。



場所/旧花田家番屋前広場
問合せ/実行委員会 (教育委員会内)
0164-56-9500

留萌管内8市町村を舞台に制作したドラマ仕立てのWEBCM『るもいであいました。』好評配信中!!
WEBサイト▶ <http://rumoiclub.net/webcm/>

留萌市 **ピアノラウンジコンサート&ラウンジカフェ** **11日(日)**

展望ラウンジでのピアノのコンサート(ラウンジカフェのみ有料)
時間/14:00～
場所/留萌市海のふるさと館
問合せ/0164-43-6817 (留萌観光協会)



苫前町 **古丹別緑ヶ丘公園 桜まつり** **11日(日) 予定**

風のみえるマチ苫前町の山間にある緑ヶ丘公園で春を感じてみませんか?



場所/古丹別緑ヶ丘公園
問合せ/苫前町観光協会 0164-64-2212

遠別町 **富士見ヶ丘公園開き・山菜まつり** **18日(日)**

地元産のものを使った加工品や、山菜ごはんなど食べ応えあり! ゲームや餅まき、山菜の無料配布ほか。



場所/富士見ヶ丘公園
問合せ/遠別町観光協会 01632-7-2115

増毛町 **増毛えび地酒まつり 2014** **24日(土) ▼ 25日(日)**

特産品の甘エビや地酒の即売、うまいもの屋台街などを楽しもう!



場所/駅前歴史通り
問合せ/増毛町観光協会 0164-53-3332

留萌管内合体ロボ **オロロン8**
留萌管内発! 合体ロボCG動画配信中!!
WEBサイト▶ <http://rumoifan.net/ororon8/>

増毛町 **旧商家丸一本間家 開館** **25日(金)**

明治時代から残る重要文化財。建物見学ほか、増毛の民話・影絵紙芝居などのイベントあり。



場所/旧商家丸一本間家 問合せ/0164-53-1511

留萌市 **黄金岬海浜公園 オープン** **26日(土)**

『日本一の落陽』が見られる留萌市の絶好のビュースポット。周辺の岩場では磯ガニ釣りも楽しめる。



場所/黄金岬
問合せ/0164-43-6817 (留萌観光協会)

留萌市 **千望台休憩施設及びレストラン「景食ハウス」 オープン** **26日(土)**

留萌市の街並みを一望できる景勝地。景食ハウスでは留萌管内の食材を使った美味しいメニューも味わえる。



場所/千望台 問合せ/0164-42-0569

留萌市 **礼受牧場畜産館「トリム」 オープン** **26日(土)**

日本海や暑寒岳を望みながらの浜焼き(バーベキュー)は格別。留萌の夕陽色を彷彿とさせるオロロンラーメンもある。



場所/礼受牧場 問合せ/0164-43-0964

この春、留萌管内を訪れませんか? 留萌観光のことなら、留萌観光連盟へお問い合わせください。『留萌管内8市町村の観光パンフレット』、『手書きまつり』、『るもい食楽歩』など各種観光資料もございます。(郵送をご希望の方は、実費送料をご負担いただいております)
パブリックメディア型観光情報サイト <http://www.rumoiclub.net/> 留萌観光連盟 電話 0164-42-3871

留萌市 **留萌市海のふるさと館・KAZUMOちゃん食堂 オープン** **26日(土)**

開館時間 9:00～18:00
入館無料



【オープニングイベント】
・懐かしの留萌鑑賞会 (無料)
11:00～13:00 春のお茶会 (無料)
13:00～ ラウンジカフェ (無料サービス)
13:30～15:00 ラウンジコンサート (無料)
場所/留萌市海のふるさと館
問合せ/0164-43-6817 (留萌観光協会)

増毛町 留萌市 **増毛ノロッコ号運行①** **26日(土) 27日(日) 29日(火)**

今年もゴールデンウィーク恒例の増毛ノロッコ号が運行。目玉は留萌の魚介類が味わえるバーベキュー車両。



JR北海道留萌本線 旭川ー増毛間
運行期間/4月26日(土)、27日(日)、29日(火)、
5月3日(土)～6日(火)
問合せ/留萌駅トラベルセンター 0164-42-0749

天塩町 **天塩ふれあい観光牧場 オープン** **29日(火) ▼ 5月3日(土)**

道北随一?! 安価な乗馬スポット。本格的な乗馬体験が可能で、初心者にはスタッフが手綱をを引く「引き馬体験」もできる。



場所/天塩ふれあい観光牧場 営業日/土・日・祝日
問合せ/01632-2-3061



MAPエリア



オホーツク海



アクセス情報

留萌管内のアクセス案内

J R J R留萌駅 TEL 0164-42-0640

バス 北海道中央バス 留萌ターミナル

TEL 0164-42-2073

札幌ターミナル

TEL 011-231-0500

沿岸バス 羽幌本社ターミナル

TEL 0164-62-1550

留萌営業所

TEL 0164-42-1701

てんてつバス TEL 0164-42-0620

フェリー 羽幌沿海フェリー(株) TEL 0164-62-1774

FAX 0164-62-5231

自動車・バイクの道路アクセス

札幌市▶増毛町

●海沿い:国道231号経由 115km (2時間29分)

札幌市▶留萌市

●国道275号経由 136km (3時間5分)

●道央道～深川留萌自動車道 (留萌大和田IC) 経由 156km (2時間7分)

新千歳空港▶留萌市

●道央道～深川留萌自動車道 (留萌大和田IC) 経由 190km (2時間20分)

旭川市▶留萌市

●国道12号経由 78km (1時間39分)

●道央道～深川留萌自動車道 (留萌大和田IC) 経由 92km (1時間20分)

稚内市▶天塩町

●海沿い:道道106号経由 68km (1時間8分)

●幌富バイパス経由 71km (1時間8分)



パブリックメディア型観光情報サイト

るもい食楽歩

<http://rumoiclub.net>

るもいの魅力を伝えるメンバー募集中!!

るもいファンクラブ

<http://rumoifan.net/>



FMもえる 76.9MHz

朝の情報番組内で北海道内5局に留萌のイベント情報を発信中!

発行・編集

留萌観光連盟

【事務局】北海道留萌市船場町2丁目 JR 留萌駅2F (株)エフエムもえる内

TEL(0164)42-3871・FAX(0164)42-2200